

■中央公園再整備方針等について

【中央公園の沿革】

S57



S61頃



現在



1946

• 都市公園用地として、復興土地区画整理事業により確保

1947

• 高松市営球場完成

1963

• 香川県立図書館開館(現アイパル香川)

1982

• 県営球場へ移転のため高松市営球場閉鎖

1982~
1985

• 現在の中央公園整備工事

1986

• 都市公園として中央公園開園

1995

• 香川県立図書館移転のため香川国際交流会館(愛称「アイパル香川」)開館

【概要】

開園 昭和61年4月5日

面積 約3.5ha

種別 地区公園

【主な施設】

石の広場

芝生広場

平和の群像

アイパル

【主なイベント】

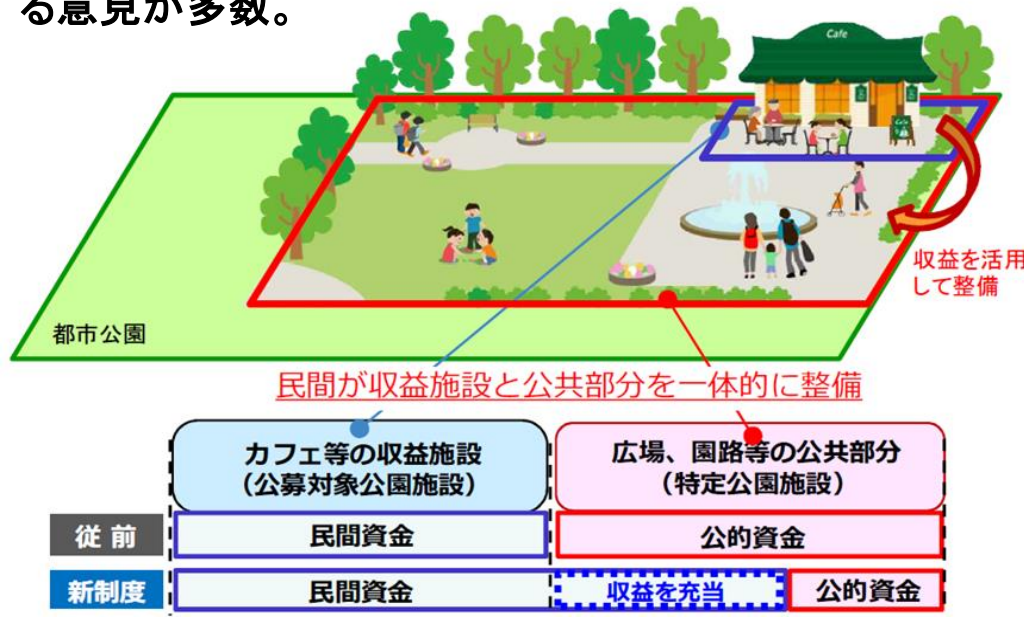
フラワーフェスティバル

さぬき高松まつり

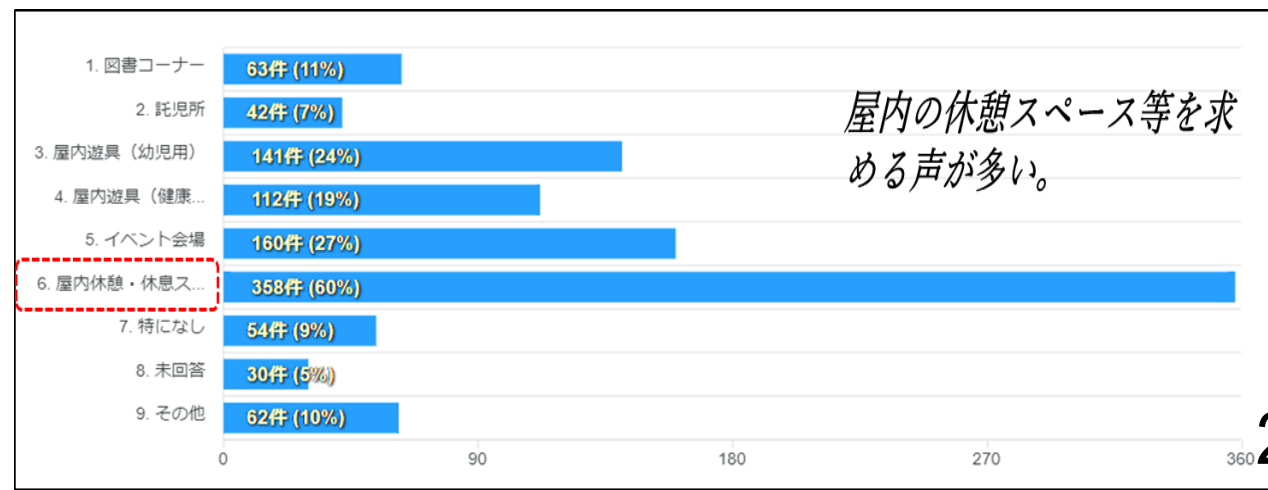
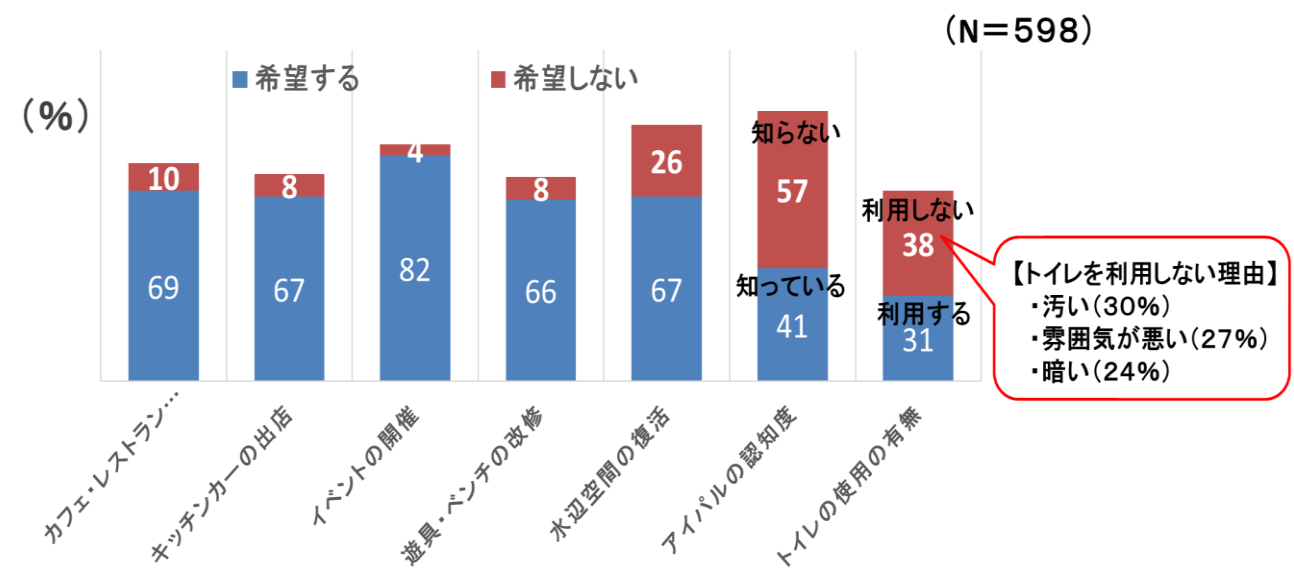
トリムの祭典

■はじめに

公園内に民間事業(カフェ等)を設置し、その収益の一部を公園整備等に還元する公募設置管理制度(Park-PFI)が創設され、全国各地で、魅力的な公園が誕生。高松市中央公園においても、市民アンケート調査の結果、施設改修に合わせて、カフェ・レストラン等の設置に期待する意見が多数。



■アンケート期間: 令和4年6月29日~7月13日(15日間)
 ■対象者: 高松市民
 ■調査方法: インターネット及びアンケート用紙配布



■中央公園の現状と課題

【アイパル香川】 公園との連携、有効活用



【遊具・休憩施設】 老朽化・閉塞感



【オープンスペース】 イベントスペースが狭い。



【樹木】 樹木が壁となり、まちと公園が分断。 全体的に暗く、近寄りづらい雰囲気。 衛生害虫被害など



【トイレ】 老朽化・バリアフリー化



【環境悪化】落書き、不法投棄



【水辺空間】 現在未利用で、修繕が必要



【植栽帯・段差】 人の流れの阻害要因



【再整備のテーマ】

「人與人」・「人とまち」・「人と未来」をつなぐ、都市の顔となる公園

【魅力向上のための
3つの取組】

【取組1】 民間事業者による魅力向上・賑わい創出

○カフェ・レストラン、キッチンカー、物販など

【取組2】 公園施設の再整備

○トイレ・花壇・照明等改修、バリアフリー化、景観整備など

【取組3】 市民等への開放

○公園利用のルール化、利用制限の緩和、ボランティア活動の推進、大学連携など

【設計コンセプト】

【設計コンセプト①】 既存ストックの活用

**【設計コンセプト②】 周辺道路と連続性のある動線確保と
周辺との視覚的つながりの創出**

【設計コンセプト③】 園内は区切り・段差を減らし、解放感のある空間を創出

中央公園再整備のイメージ

※他都市の事例やアンケート調査の結果等を参考に作成した整備イメージです。

■アイパル香川との連携(屋内休憩スペース等)



写真:アイパル香川HP

■バリアフリー化・身障者用駐車場



写真:りんくうスポーツ公園HP

■老朽施設(遊具等)の改修



写真:国営越後丘陵公園HP



■物販・飲食店



写真:Enleeガーデンレストラン提供



■市民イベント開催



■高質化・イメージアップ



■トイレ改修



写真:横浜市HP(大場かやのき公園トイレ)



■水辺空間改修



写真:高松港管理事務所HP

■樹木整理



写真:福岡市提供(警固公園)

■ 他都市の事例

福岡市警固公園

犯罪発生の温床となっていた場所が、子供達や家族連れ等が訪れる賑わいのある公園として再生



豊島区立南池袋公園

好立地をいかし、魅力的な店舗を誘致することにより、質の高い憩いの場と新たな賑わいを創出



中央公園再整備事業 PARK PFI

事業体 「スイーツ&ベーカリー・Cafe LÖWE」

1



南池袋公園(東京都豊島区)平日の風景

2



正面に見えるのはCafe

3



テイクアウト&イートイン スイーツ



4



ベーカリーコーナー

5



公園内ベーカリーとして パンはケース内

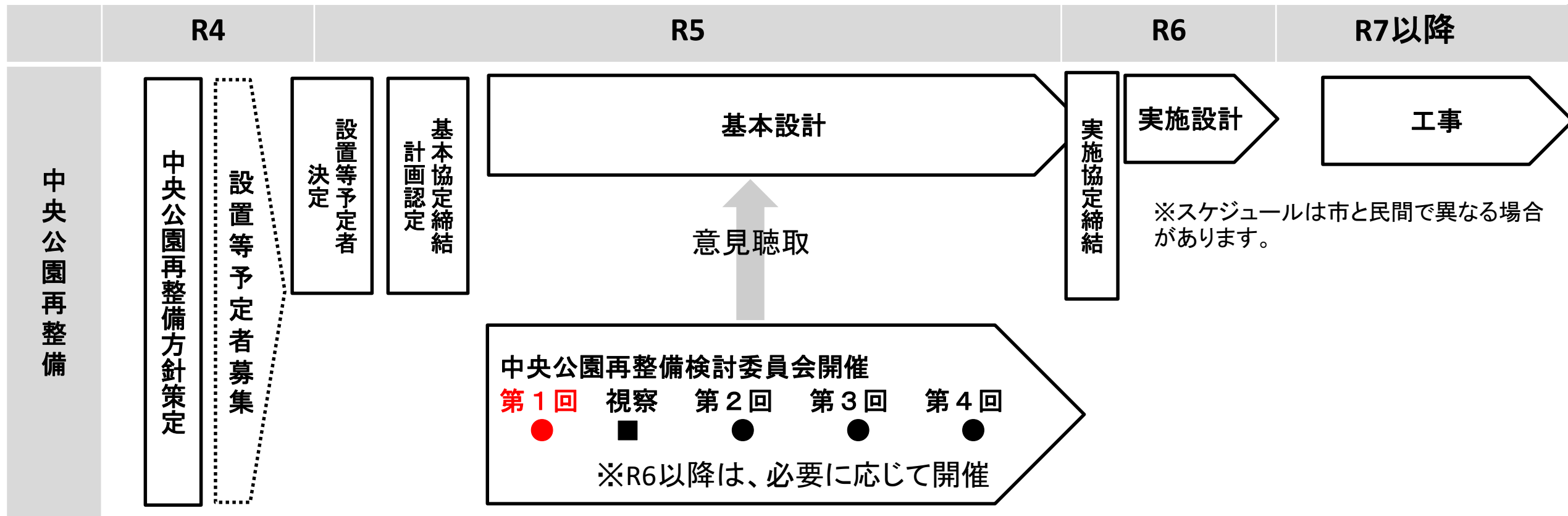
6



解放的でバリアフリーなCafeスペース

■スケジュール(案)

(1) 全体スケジュール(案)



(2) R5中央公園再整備検討委員会の進め方(案)

	第1回 (7/27)	先進地視察	第2回 (10月～11月)	第3回 (未定)	第4回 (未定)
委員会	○委員長選出 ○再整備方針等	○先進地視察	○先進地視察報告 ○基本設計(概略)	○基本設計(案)	○基本設計(最終案)取りまとめ